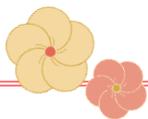


令和6年度を振り返って

今年度最終号の会報「事務 Tea Time」第74号に、
会長からこの一年を振り返ってごあいさつをいただきました。



会長 鈴木かおり（南陽市立宮内中学校）

今年一年、会員の皆様方のご理解とご協力のもと、充実した県協議会活動を進めさせていただき、心より感謝申し上げます。

さて、今年度は活動の柱である「学校事務の連携・共同実施」の本実施に向けて、課題や在り方を振り返る年でありました。ほぼ単数配置である学校事務職員が、共同実施において組織を生かした取り組みを実践し、学校教育目標の達成のため成果を上げることができるか、また共同実施の必要性や広がる可能性を前向きに捉えることができるか、チーム学校にいかに関与できるか、夏季研修会の講演や地区の実践から、県協議会として様々な視点で考えることができました。経験者の積み重ねた知識や鍛えられた判断力と、若手の行動力とひらめきを生かすことで、より一層効果がアップできる。やはり「共同実施」は必須であり、事務をつかさどる職として主体的・積極的に構築しなければならない分野だと確信いたしました。皆様はどう思われましたか。

また、遠く東北地区公立小中学校事務研究大会岩手大会にも多数の参加をいただき、ありがとうございました。学ぶことは可能性を広げることができ、より確かな判断力を高めることができます。来年度は地区レポート発表を主体とした研究大会が開催されます。自己研鑽のため積極的に参加していただき、大会を大いに盛り上げていただければと願っております。

今年の干支「巳年」は前進と成長の年。来年度も皆様と共に前進し成長する県協議会活動を築き上げていきましょう。今後ともご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



第25回 東北地区公立小中学校事務研究大会

岩手大会

=発表・参加者の声=

令和6年10月10日（木）・11日（金）盛岡市民文化ホール、いわて県民情報交流センターにて、第25回東北地区公立小中学校事務研究大会岩手大会が「創造しよう！ 学校事務の将来像を～笑顔が広がる いい学校をめざして～」のテーマのもと、開催されました。大会に向けてレポート発表に取り組みました皆様、素晴らしい発表をありがとうございました。発表・参加された5名の方にお声をいただきましたので、ご紹介します。

【発表者】大江町立左沢小学校 主事 斎藤亜樹

初めて研究大会に参加したのは全国事務研山形大会で、私は欠員補充職員でした。当時の私では理解を深めることができずに終わった他県の発表も、本大会では自分事として捉えることができたり、パワフルな若手やベテランにエネルギーをいただいたりと、多くの学びがありました。これは参加しないと味わえない醍醐味なのでしょう。そして、皆様よりご協力いただいたレポート発表は大成功に終わりました。貴重な経験をありがとうございました。

【発表者】天童市立高揃小学校 主事 樋口 舞

東北大会初参加にして発表者となり、道のりは険しく、多くの困難が伴いました。しかし、たくさんの素敵な先輩方にお力添えをいただき、楽しく発表を終えることができました。

大会当日、受付で自分の名前が載っている研究集録を受け取った時は、感動のあまり涙があふれそうでした。私の事務職員人生における宝物です。またこのような機会を得られるよう精進します。ご協力いただきました皆様には、この場をお借りして感謝申し上げます。



【発表者】酒田市立第一中学校 事務主査 後藤しのぶ

記憶を呼び起こし、資料やアンケートをひっくり返し、何度も読み直して完成したレポート。発表原稿も、20分程度の内容にまとめるのはとても大変だった。

私たちは、事務職員同士のつながりを強調するべく、事務主査2名と主事2名の4名で発表。両主事は、初めての東北大会参加で発表のステージに立った。地区内の事務職員同士・若手同士のつながりを深めるために実践してきた「主事対象研修会」について、運営側と参加側の主事がそれぞれの視点で振り返り、成果と課題を述べた。若手はベテランから多くのことを学び、時にベテランが若手に学ぶ、共に学び合える研修会であること、主事同士の交流の場となり、実践につなぐ機会となっていること、を伝えられたと思う。

助言者の山路事務総括には、外部講師の招致や先輩事務職員の学校を訪問しての学び、他地区との交流など、今後の活動へ多くのヒントをいただき、心より感謝申し上げたい。

【参加者】米沢市立愛宕小学校 主事 橋本昂陽

私は、今回初めて参集型の研究大会に参加し、1日目の午後から行われた分科会では第2分科会を受講しました。各県の発表を聴くことができ、どの発表も入念に準備された素晴らしい発表でした。内容としても様々な実践や取り組みを学ぶことができました。

研究発表を聴いて感じたことは、発表者に若手事務職員の方が多く、明るい雰囲気でも発表されていたことです。また、発表のなかでも『制度について正しく理解し有用な情報を発信していく力』と『今の自分が今の職場で今できることを常に考え、自分を常にアップデートしていくこと』が重要だ」という言葉が印象的でした。私自身、福利関係も含め、制度について正しく理解できていない事例もあるため、正しく理解し、職員の方々に発信していく力を身に付けたいと思いました。

ふだんの業務とは異なる場所で、研究大会の雰囲気を体感できたことが何よりも良い経験になりました。今回の研究大会で学んだたくさんのことを、今後の業務に生かしていきたいです。



【参加者】山形市立蔵王第一小学校 事務主査 鈴木 綾

実行委員会の特別企画には参加することがマイルールのため、参加者の交流ができそうだった一関支部の岩手特別分科会を選択しました。

県のグランドデザインに支部として「学校事務向上のための研修体系の確立」からアプローチし、各会員（学校）へ還元してきた取り組みの発表でした。実践交流（課題設定、情報の収集・整理・分析、まとめ・表現）し学校に持ち帰り実践するサイクルは、少人数での対話と全体交流が特徴的で、事務研の意義や会員の納得感、共同実施のかかわりなど、取り入れられることは何か、興味深く聴きました。

大会に現地で参加するのは6年ぶり。オンラインは移動時間を短縮できて参加しやすいですが、参集して運営側の熱意ごと大会を満喫する、出会った人たちと言葉を交わすことが大会の醍醐味です。本大会も誘導や弁当配布、分科会の係の方のあたたかい声に迎えられました。令和9年度の夏は宮城大会です。あなたもぜひ参加してみませんか。

おすすめの〇〇紹介



バードライフのススメ

山形地区 サクランボおぼさん



私は鳥の仕草や鳴き方で鳥の気持ちがチョッピリ分かるバードライフアドバイザー（認定NPO法人TSUBASA認定講座）3級を保持しています。“鳥と飼い主自身の健康を守り、人も鳥も共に幸せになる”という思いを大切にすることを目的とした講座です。皆さんのうちの可愛い小動物さんたちもそうですが、特に鳥は仲間意識が高く人間の気持ちを察する半面、具合が悪くても心配をかけまいと病気やケガを隠す習性があります。

我が家のセキセイインコは、自分の名前や覚えた言葉のおしゃべり以外に、鳴き方や鳴く抑揚で、もっと遊んでよ！ もう寝る時間だよ！ 等々教えてくれます。鳥は2歳児くらいの知能があるらしく、人の話す言葉を真似ること自体が楽しみの一部になっているそうです。

コロナ禍で新しくペットを迎えた方も多い一方、感染が落ち着き飼育放棄等が増えていると聞きます。人間同様病気や介護、金銭面や世話する側の年齢も考えながら、“小さな家族”と“世話する私たち”の心と体が共に健康で、一日も長くお世話が続くことを祈ります。



冬こそおうちで映画



北村山地区 ジェーンドウ

「わざわざ雪はきして外さ出かけたくないなあ。家で何すっかな…よし、映画を観よう。」ということで、寒い冬におすすめの映画を紹介します。

クリスマスの定番、ホーム・アローンシリーズから「ホーム・アローン3」です。マコーレー・カルキン主演の1、2作目が有名ですが、このシリーズには更に4作続きがあります。

3作目は主演がアレックス・D・リンツに変わります。1、2作目では旅行でがら空きの家を狙う泥棒たちを家にある様々な物で撃退するお話でした。キャストを変えた3作目は、主人公アレックスが持つラジコンに機密情報が入ったチップが隠されており、それを狙う泥棒とアレックスの攻防戦を描く内容となっています。小学生の頃に親がビデオを借りてきて観ましたが、新たな仕掛けにワクワクしながら観たことを覚えています。

冬の寒さも、楽しく映画を観ている間に吹き飛ばすこと間違いなし！ ぜひ、皆さんもおうちで観てみてください。





From 大蔵村

「村章」



大蔵村は最上郡の南部に位置する村です。自然豊かで楽しい場所がいっぱいの大蔵村を紹介します。



公式キャラクター「おおくらくん」

特産品

トマト、小屋酒造の地酒（絹・花羽陽）、ほてい饅頭、山そば、大蔵ほんもろ娘（魚）、りんどう、大蔵わさび、棚田米、肘折こけし…など



お食事処

大蔵食堂、そば処寿屋、ねぎぼうず、大蔵コッペパン、ふるさと味来館、肘折いでゆ館、喫茶いおり…など



イベント

四ヶ村の

棚田ほたる火コンサート、肘折温泉開湯祭、ふるさと味来館新そばまつり、肘折さんげさんげ、地面出し競争 World Cup in 肘折、花火大会

観光スポット

四ヶ村の棚田、肘折温泉、清水城址、夏山塚、地蔵倉、鼻ヶ倉、湯の台高原、男沼・女沼・長沼、小松淵、肘折旧郵便局舎、源泉公園…など

From 西川町

西川町は県内有数の豪雪地帯で、多い地区では6mを超える積雪があります。町のシンボルでもある月山では春から夏にかけてスキーを楽しむことができ、毎年4月上旬から7月下旬までの間、約15万人のスキーヤーやスノーボーダーで賑わいを見せています。

今回は、冬の西川町のおすすめスポットを2か所ご紹介します*

月山スノーランド

子どもから大人まで雪あそびを楽しめる施設として、2020年12月にオープンしました。チュービング・バナナポート・雪原クルーズ・ドリフトチューブなど、たくさんのスノーアクティビティを体験できます。



月山志津温泉雪旅籠

出羽三山行者が訪れた昔の志津の町並みを雪で再現しています。雪旅籠やかまくらの中に入って、優しい光の空間でくつろいでみてはいかがでしょうか。Ice Bar（巨大かまくらの中に設えた氷の世界のバーです！）で飲食を楽しむこともできます。今年は、雪上サウナを楽しむイベントも企画されています。